



# 丹沢大山 グリーンピア21



伊勢原会場における普及啓発活動

平成二十三年十月十六日(日)清川村会場でのイベントを皮切りに、今年も「丹沢大山グリーンキャンペーン」がスタートします。今年は、十一月三日(木)の厚木市の中央会場を中心に、県内7市町村に会場を設置し、キャンペーンを実施します。

**第34回グリーン  
キャンペーンが  
開催されます**



清川村会場における清掃活動

松田会場における清掃活動



しむ方々が大勢いらっしゃいます。また、近年、自然への関心が高まる一方で、残念ながら、マナーの悪さやゴミの問題も少なからず指摘されています。

クリーンキャンペーンを通して、一

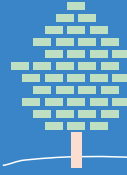
人でも多くの方に、ゴミ問題の深刻さ、自然環境を守ることの大切さ、マナーを守ることの必要性などをお伝えしていきたいと思っております。

また、一部登山口においては、「山岳トイレのゴミ持ち帰り運動」もあわせて実施される予定です。

(自然環境保全センター 自然保護課)

日時	主催者	会場	連絡先
11月3日(木) 9:30~	[中央会場] 厚木市・他地域団体	市内ハイキングコース	厚木市生活環境課 046-225-2750
11月20日(日) 8:30~	相模原市・ 他地域団体	相模原市緑区鳥屋地区	相模原市津久井環境課 042-780-1404
10月22日(土) 8:30~	秦野市・ 他地域団体	ヤビツ峠登山口(バス停) 及び大倉登山口(バス停)	秦野市商工観光課 0463-82-9648
11月5日(土) 9:00~	伊勢原市・ 他地域団体	大山登山口	伊勢原市商工観光振興課 0463-94-4711
11月13日(日) 9:00~	松田町・ 他地域団体	松田町寄中津川周辺	松田町環境経済課 0465-83-1228
10月23日(日) 9:00~	山北町・ 他地域団体	丹沢湖・河内川周辺	山北町生活環境課 0465-75-3645
10月16日(日) 8:30~	清川村・ 他地域団体	村内村県道沿い及び 河川沿い	清川村産業観光課 046-288-3864

# 丹沢大山 クリーンキャンペーン 中央会場を開催して



相模原市  
環境経済局環境共生部  
津久井環境課 岡野 順

本市が前回中央会場として、開催したのは平成十五年の旧津久井町当時でした。

その後、平成十八年三月の合併を経て、昨年四月に政令指定都市となった記念すべき年に「丹沢大山クリーンキャンペーン」の中央会場として緑区の鳥屋地区で開催させていただきました。

本市の緑区は都市機能を有する区東部の橋本地区と、相模川や道志川などの清流及び相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖などの湖が水をたたえる水源や丹沢大山国定公園、県立陣馬相模湖自然公園と広大な森林が広がる美しい自然環境に恵まれた区西部の津久井地域から

なり、人と自然が共生する「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」を目指しているところがございます。

さて、「丹沢大山クリーンキャンペーン」は、事業所、団体、県、市町村が協力し、丹沢大山国定公園を中心とする山岳地帯及びその周辺のすぐれた地域の自然を美しく保存することも、健全なレクリエーションの場として良好な環境整備に寄与するため、ゴミ持ち帰り運動の推進を目的としております。

本市においても、地元の各種地域団体の皆様のご協力により清掃活動とゴミ持ち帰りの啓発活動を実施しております。

ここ数年、清掃活動は緑区鳥屋地区にある津久井馬術場を起点として奥野林道、荒井林道の沿線を中心に行っており、皆様のご協力のおかげで林道沿いのゴミは大分少なくなりましたが、林道から外れた空地や沢などには「ゴミが捨てられているのが実情です。

中央会場として開催した昨年度は、秋晴れの下、地元の津久井地域の団体の皆様を中心に協力いただき、地元の子どもたちも大勢参加して、元気にゴミ拾いを行っていただきました。

参加者は総勢一五〇名で、馬術場から奥野林道、荒井林道を経て、馬術場

に戻る約六kmの林道と周辺の清掃活動を行い、約二時間の作業で可燃ゴミ一七〇kg、不燃ゴミ二六〇kgの合計四三〇kgを回収しました。

このクリーンキャンペーンを機会に自然を守ることを輪が広がり、また丹沢を守って行くことが地元で受け継がれている姿に、感謝の気持ちで一杯になりました。

また、ゴミ持ち帰りの啓発活動は同じ鳥屋地区の宮ヶ湖畔にある「鳥居原ふれあいの館」で行っており、クリーンキャンペーンを行う十一月には宮ヶ瀬湖周辺に広がる美しい紅葉を目当てに、県内外から沢山の観光客が訪れます。

当日は例年通り約四〇〇枚のチラシ等を観光客に配布し、「ゴミの持ち帰り運動」の啓発を行いました。

結びに、地元の皆様や各種団体及びグリーンピア21に携わる皆様など、多くの方にご参加いただいたことに、紙面を借りてお礼申し上げますとともに、皆様

方のご健勝を心よりご祈念申し上げます。ありがとうございました。

鳥居原ふれあいの館での啓発活動



子どもたちも参加した清掃活動



奥野林道付近の清掃活動





# 設立二十周年を迎えて

## 公益財団法人かながわ海岸美化財団

公益財団法人かながわ海岸美化財団は、全国で唯一海岸の美化を目的とした公益法人として平成三年四月一日に設立されました。

SAをテーマに、設立二十周年記念事業を展開しています。

### 「なぎさのごみハンドブック」の作成

今年度は、設立二十周年を機にこれまでの二十年を見つめ直し、これからの二十年を考えていく事業として、「ごみがあるからキレイにするNAGISAから、ごみが流れ着かないNAGI

Aから、ごみが流れ着かないNAGI」をテーマに、設立二十周年記念事業を展開しています。



く」を六月に作成しました。現在無料進呈中ですが、県内はもとより北は北海道、南は沖縄まで全国からご依頼をいただいています。

### 学校キャラバン

美化財団の職員が「なぎさのごみハンドブック」を携え、日頃、海に触れる機会の少ない河川上流域の学校を中心に環境教育の事前授業を行っています。

### フォーラムの開催

十月二十九日(土) 江ノ島にあるかながわ女性センターにおいて、フォーラムを開催し、ごみの発生抑制について効果的な方策を検討していくと同時に、海岸利用者や国、企業からの支援や協力など、清掃の仕組みの充実について考えます。また広く参加者を募り、行政・市民・企業・団体や、県内の海岸線の横のつながりと、河川上流域との縦のつながりなど、さまざまなネットワークを強化、拡充していきます。



学校キャラバンの様子

### 記念誌の作成

二十年間の財団の実績やノウハウを記念誌としてまとめ、海岸美化につ

て実効性のある資料・情報を発信します。

かながわ海岸美化財団は、新たな二十年へのスタートラインを迎え、これらの事業を通じてごみの流れ着かないNAGISAの実現を目指しています。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(主事 鉄崎優子)

公益財団法人かながわ海岸美化財団

<http://bikazaidan.or.jp/>

<http://www.bikazaidan.or.jp/nagisa20/index.html>

# ボランティア活動団体の紹介

## 丹沢ゴミ調査会の活動

### 丹沢のゴミ 見てある記



私たちは、ゴミ調査という形で、登山道のゴミゼロを目指して活動を続けています。この会の活動は、県立宮ヶ瀬ビジターセンターで活動していたボランティアが中心となり一九九二年に表尾根のゴミをカウントしたことから始まりまし。普段は息を切らせて通過する登山道を細かく見てみると、改めてゴミの種類が多さ、量の多さに気づかれます。

その後、山岳会や森林インストラクターとして活動する有志が集まり「丹沢ゴミ調査会」として再出発。ゴミを少しでも減らし、より自然と調和した自然への親しみ方を考え、啓発することを活動の中心にしています。一九九六年以降、年一回の調査（二〇〇八年、二〇〇九年は休止）を現在まで行っており、毎回のべ三〇人〜五〇人以上の方が参加しています。活動にあたっては、二〇〇一年に全労済から、二〇〇

三年に㈱リコー社会貢献クラブから助成をいただき、またクリーンピア21からも資材の提供など活動を支えて頂いています。

ゴミ調査では、間縄（ケンナワ、簡易巻き尺）を引きずりながら二〇m毎に、さらに登山道の左右、道上別に、ゴミの種類と量をカウントします。さらにその場所の周辺の環境を記録し、その場所の特徴とゴミの様子について考察します。そして、調査と合わせてゴミを拾い山麓まで下ろします。

この調査を通じて、少しずつ登山道のゴミが減っている様子が見えてきまし



調査前の打合せ



登山道における調査状況

た。丹沢ほどの登山者の多い山塊でゴミが減りつつある、ということとは地道な「拾う」活動の成果と、「捨けない」意識の定着の結果だろうと思います。空き缶などは古いものがほとんどです。

一方で、意識しないで捨てられてしまうゴミは依然として目立ちます。例えば、毎回非常に多いゴミにアメ紙やビニール類があります。山に持っている食糧では、ビニールで小分けになっているものが多く、歩いている途中でポケットからポロッと落ちてしまったり、ちょっとした間に風でおにぎりを包むビニールの切れ端が飛んでいってしまったたり、ということが多いのでは無いでしょうか。ストックや杖の先に付いているゴムがはずれたものが自立

った年もありました。

クリーンピア21に参加している各団体では、それぞれの団体が様々な活動を展開しており、その熱意と実績には頭が下がります。これからも皆様と情報交換をしながら、丹沢の豊かな自然を残していくために、微力ですが活動を続けていきたいと思ひます。

（事務局 栗林弘樹）

## 編集後記

毎年、丹沢大山クリーンキャンペーンの実施にあわせ、少しでも多くの人にクリーンピアの活動を理解していただくため、会報やポスター等広報を作成しています。デザインや内容に頭を悩ませています。今年も活動を増やしやすいように、会報の画像を増やし、カラー印刷にしました。キャンペーンに多数の皆さんの参加を望んでおります。また、会報作成にあたり、ご意見をお待ちしています。

【編集・発行】

丹沢大山クリーンピア21

事務局

神奈川県自然環境保全センター

自然保護公園部自然保護課

神奈川県厚木市七沢六五七

電話 046-248-6682